



2022

## クラシック・キャラバン 山形公演

クラシック音楽が世界をつなぐ 「煌めくガラ・コンサート」  
～輝く未来に向けて～

# 『喜びのメロディ』～ウィーンのワルツ物語

クライスラー：  
愛の喜び、愛の悲しみ、美しきロスマリン

米元響子(ヴァイオリン)、中川優芽花(ピアノ)

J. シュトラウス2世(ベルク編)／ワルツ《酒、女、歌》  
J. シュトラウス2世(ウェーベルン編)／ワルツ《わたしの恋人》  
J. シュトラウス2世(シェーンベルク編)／ワルツ《南国のはら》

米元響子、東亮汰(ヴァイオリン)、瀧本麻衣子(ヴィオラ)、富岡廉太郎(チェロ)、菅沼希望(コントラバス)、中川優芽花(ピアノ)、山口綾規(ハーモニウム)

Brahms: 16のワルツ 作品39より抜粋  
 仲道郁代(ピアノ)、中川優芽花(ピアノ)

Brahms: ワルツ集「愛の歌」作品52

市原愛(ソプラノ)、山下牧子(メゾ・ソプラノ)、西村悟(テノール)、黒田祐貴(バリトン)、仲道郁代(ピアノ)、中川優芽花(ピアノ)

青山友紀(司会・山形放送アナウンサー)

クラシック・キャラバンとは  
コロナ禍を乗り越えるため(一社)日本クラシック音楽事業協会が企画した公演プロジェクトです。  
昨年に引き続き、今年は全国13か所21公演が開催されます。

2022年10月9日(日)  
15:00開演(14:00開場)  
山形テルサホール

チケット	全席指定: 4,000円(税込)
チケット取り扱い	山形テルサ 023-646-6677 富岡本店 023-641-0644 チケットぴあ ローソンチケット

一般発売  
7/19  
火



公演WEBサイトはこちら  
<https://www.classic-caravan.com/>

主催：一般社団法人日本クラシック音楽事業協会  
株式会社ジャパン・アーツ  
山形テルサ指定管理者(一財)山形市都市振興公社  
後援：山形新聞・山形放送

文化庁 統括団体によるアートキャラバン事業  
(コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)



文化庁

●未就学児の同伴・入場はご遠慮ください。なお、当方は2~5歳までのお子様をお預かりする「無料キッズルーム」を開設いたします。  
ご利用希望の方は、9月29日(木)までに山形テルサにお申し込みください。

●お車でのお越しの際は、近隣の駐車場(有料)をご利用ください。また、混雑が予想されますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

●新型コロナウィルスの感染状況によっては、公演の中止や内容が変更となる場合がございます。最新情報につきましては、公演WEBサイトにてご確認ください。

ウィーン・フィルのニューイヤー・コンサートでお馴染みの「ウィンナ・ワルツ」。心華やぐ明るい3拍子のリズム。「ワルツ王」ヨハン・シュトラウス2世が活躍した19世紀半ばのオーストリアはコレラの流行と戦争の続く暗黒時代。やり場のない人々の不安、哀しみを心地よいメロディが和らげました。そして、今の私たちは…こんな時だからこそ、短いひと時でもすべてを忘れて「喜びのメロディ」(ワルツ)に身を任せてみませんか?!



米元響子(ヴァイオリン)  
Kyoko Yonemoto, Violin

1997年バガニーニ国際ヴァイオリンコンクール(イタリア)において史上年少13歳で入賞後、モスクワ・バガニーニ国際ヴァイオリンコンクール優勝など数々の賞を受賞。これまで国内外の主要オーケストラと多数共演を重ねるほか、室内楽の分野でも高い評価を受けている。現在、マーストリヒト音楽院教授。CD「イザイ:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ全曲」は文化庁芸術祭優秀賞受賞。使用楽器は1727年製のストラディヴァリウス(サントリー芸術財団より貸与)。



瀧本麻衣子(ヴィオラ)  
Maiko Takimoto, Viola

東京藝術大学で川本嘉子氏にヴィオラを師事。卒業後は、ロームミュージックファンデーション海外派遣奨学生としてショットカットガルト音楽大学院にてアンドラ・ダーツインスに師事。第10回東京音楽コンクール弦楽器部門第3位。Quartet Venerèとしてウィーン国立音大室内楽アカデミーにて、Artis-Preis受賞(第1位)。2013年よりサイトウキネンオーケストラのメンバーとして参加している。現在は新日本フィルハーモニー交響楽団首席ヴィオラ奏者。



菅沼希望(コントラバス)  
Nozomi Suganuma, Contrabass

東京藝術大学を卒業、同大学院をアカンサス音楽賞を受賞し修了。大学院在学中に渡独し、フランクフルト音楽・舞台芸術大学にて学ぶ。新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団と共に演奏。室内楽に於いても積極的に活動を行なっている。池松宏、クリストフ・シュミット、永島義男、西山真二、村上満志、山谷明恵、吉田秀の各氏に師事。新日本フィルハーモニー交響楽団首席コントラバス奏者。



仲道郁代(ピアノ)  
Ikuyo Nakamichi, Piano

国内はもとより海外でも活躍、名実ともに日本を代表するピアニスト。CDはレコードアカデミー賞受賞CDを含む「仲道郁代ベートーヴェン集成~ピアノ・ソナタ&協奏曲全集」他、名盤多数。ベートーヴェン没後200周年の2027年に向けて「仲道郁代 The Road to 2027 プロジェクト」をスタートし、リサイタルシリーズを展開中。令和3年度文化庁長官表彰、ならびに文化庁芸術祭大賞を受賞。オフィシャル・ホームページ <http://www.ikuyo-nakamichi.com>



市原愛(ソプラノ)  
Ai Ichihara, Soprano

東京藝術大学卒業。ミュンヘン国立音楽大学大学院を修了。その後ドイツを中心に欧州各地の歌劇場に客演。2013年のトリノ王立歌劇場日本公演では「仮面舞踏会」でオスカル役、2015年錦織健プロデュース・オペラVol.6「後宮からのお逃走」のプロンデ役に出演。2021年佐渡裕プロデュース・オペラ「メリー・ウイドウ」ヴァランシエンヌ役で、好評を博す。

オフィシャル・ホームページ <http://www.aiichihara.com/>



西村悟(テノール)  
Satoshi Nishimura, Tenor

日本大学芸術学部、東京藝術大学大学院修了。イタリア声楽コンカルソ・ミラノで大賞、リッカルド・ザンドナーイ国際声楽コンクール第2位及び審査委員長特別賞、日本音楽コンクール第1位。国内外の著名な指揮者、オーケストラと共に演奏し2016年に大野和士指揮バルセロナ響とメンデルズソン・ソーン「讃美歌」で欧州デビュー。2021年9月に初アルバム「Un passo」リリース。五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。出光音楽賞受賞。



東亮汰(ヴァイオリン)  
Ryota Higashi, Violin

第88回日本音楽コンクール第1位。NHK-FM「リサイタル・パッシオ」などに出演。東響、東京フィル、神奈川フィルなどと共に演奏。これまでに森川ちひろ氏に師事。桐朋学園大学音楽学部を首席で卒業。特待生として桐朋学園大学大学院音楽研究科修士課程1年在学中。辰巳明子氏に師事。Japan National Orchestraコアメンバー、RMF2021、22年度奨学生。宗次コレクションより楽器貸与を受けている。



富岡廉太郎(チェロ)  
Renato Tomioka, Cello

桐朋学園大学を経てバーゼル音楽院を修了。2006年ウェーハルズ弦楽四重奏団を創立。2008年ミュンヘンARD国際音楽コンクールクアルテット部門で、日本人のみで結成されるクアルテットとしては、東京クアルテット以来38年ぶりの3位入賞を果たす。2014年6月から2017年3月まで、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団客員首席奏者を務める。2017年11月より、読売日本交響楽団首席奏者。



山口綾規(ハーモニウム)  
Ryoki Yamaguchi, Harmonium

早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。東京藝術大学音楽学部別科オルガン専修を経て、同大学大学院修士課程音楽研究科(オルガン)を修了。東京を中心に関内外で演奏活動を続けている。ジャンルを超えた多彩なレパートリーには定評があり、シアター・オルガン(アメリカの無声映画の伴奏に使われたパイプオルガン)を演奏する数少ない日本人である。昭和音楽大学講師。



中川優芽花(ピアノ)  
Yumeka Nakagawa, Piano

2001年ドイツに生まれ、ドイツで育つ。2021年、スイスで開催されたクララ・ハスキル国際ピアノ・コンクールで優勝。またデュッセルドルフで開催されたロベルト・シューマン国際コンクール(2019)、およびイエネ=カーチ国際コンクール(2018)でも優勝を果たしている。今夏は世界屈指の音楽祭の一つ、ヴェルビエ音楽祭にアカデミー生として参加。今後の国際的活躍が非常に期待される新星ピアニスト。



山下牧子(メゾ・ソプラノ)  
Makiko Yamashita, Mezzo soprano

広島大学を経て東京藝術大学大学院に学ぶ。第1回東京音楽コンクール第1位ほか多数受賞。新国立劇場、東京二期会、日生劇場を中心に『カルメン』題名役、『サロメ』ヘロディアス、『トリスタンとイゾルデ』ブランゲーネ、『ニュルンベルクのマイスター』マグダレーネ等で常に高い評価を得ている。コンサートにおいても「第九」「メサイア」等のアルトソロとしての出演を重ねている。二期会会員



黒田祐貴(バリトン)  
Yuki Kuroda, Baritone

東京藝術大学声楽科首席卒業、同大学院修士課程オペラ科首席修了。第87回日本音楽コンクール声楽部門第2位、岩谷賞(聴衆賞)受賞。2021年デビューアルバム『Meine Lieder』リリース(日本コロムビア)。同年7月佐渡裕芸術監督プロデュース・オペラ「メリー・ウイドウ」ダニロ・ダニロヴィッチ伯爵でオペラデビュー。11月「作曲家キーンン~その肖像Kissin the Composer」にソリストとして出演(日本初演)。2022年6月NISSAY OPERA『セビリアの理髪師』フィガロで出演。

### ご来場の皆さまへ

- 使用座席は、政府や自治体等のガイドラインに従い、客席定員の100%以内で販売いたします(今後の状況により、その時点でのガイドラインに従った人数制限に変更する場合がございます)。
- チケット半券(裏)に、ご来場のお客様の氏名と電話番号をご記入ください。来場者情報は、必要に応じて保健所等の公的機関へ提供する場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- 咳、のどの痛み、だるさ、発熱などの体調不良を感じる場合には、ご来場をお控えください。

- 入場時の検温へのご協力ををお願いいたします。検温の結果、37.5度以上の場合はご入場をお断りさせていただきますので、あらかじめご了承ください。
- 怖れ入りますが、出演者へのご贈答品(お花、プレゼント等)は辞退申し上げます。出演者への面会、楽屋入り待ち・出待ちもお控えくださいますようお願いいたします。
- 接触確認アプリ(COCOA)ご利用へのご協力ををお願いいたします。
- 感染防止策の実施により、通常よりご入場にお時間を頂戴することが予想されます。ご来館の際は、どうぞお時間に余裕を持ってお越しください。
- 会場では「3密」回避、マスク着用、咳エチケット、こまめな手洗い・手指消毒にて協力ください。

